

令和元年東日本台風等からの復旧・復興と水災害に強いふくしまを目指して

特集

昨年10月に発生した東日本台風(台風19号)等により、福島県は全域にわたって大きな被害を受けました。被害状況や復旧・復興への取り組み、防災・減災に向けたプロジェクトを紹介します。

県内の被害状況

県内40のうち14の観測所(気象庁)で観測史上最大の降雨(24時間雨量)を記録しました。浜通り地方の全13市町村をはじめ、県内59市

で発生しました。また、国見町の県北浄化センターは水没のため機能不全状態になるなど全県的に大規模な被害となりました。

町村中50市町村で大雨特別警報が発令されました。県管理道路は通行止めが最大378カ所、土砂崩れは152カ所

人的被害	
死者	32人
行方不明者	0人
重傷者	1人
軽傷者	58人

住宅被害	
床上浸水	1,161棟
床下浸水	443棟
全壊	1,490棟
半壊	12,568棟
一部損壊	6,980棟

県災害対策本部調べ(4月7日現在)



東日本台風等の災害査定が終了しました

被災した土木施設の災害査定が、令和元年災第3次査定(11/12～13)から始まり、令和元年災第12次査定(2/3～7)をもって、全て終了しました。

災害査定の結果、県と市町村管理施設を合わせて累計2,794カ所、決定額が約928億円となり、福島県における台風等降雨被害での決定額としては過去最大となります。



災害査定の様子

工種	県			市町村			県、市町村合計		
	箇所数	金額(百万円)		箇所数	金額(百万円)		箇所数	金額(百万円)	
河川	1,411	50,072	70.3%	473	8,387	38.8%	1,884	58,459	63.1%
海岸	1	460	0.6%			0.0%	1	460	0.5%
砂防設備	28	680	1.0%			0.0%	28	680	0.7%
道路	277	4,737	6.7%	495	6,130	28.4%	772	10,868	11.7%
橋梁	1	117	0.2%	24	3,781	17.5%	25	3,898	4.2%
港湾	4	119	0.2%			0.0%	4	119	0.1%
漁港	13	923	1.3%			0.0%	13	923	1.0%
下水道	1	12,688	17.8%	30	1,972	9.1%	31	14,660	15.8%
公園等			0.0%	23	835	3.9%	23	835	0.9%
住宅	7	1,360	1.9%	6	505	2.3%	13	1,865	2.0%
計	1,743	71,156	100.0%	1,051	21,610	100.0%	2,794	92,767	100.0%

INTERVIEW

インタビュー

全国各地から派遣職員の応援を いただいています！



応援職員による災害対応の様子

派遣職員として 福島へ恩返し

沖縄県から派遣職員として、4月1日に着任しました。派遣前は土木建築部施設建築課で県有施設の機械設備の工事発注や現場監督をしていました。首里城が火災で焼失した際には福島県の皆さんからもたくさん募金をいただき、恩返しを

したいという思いがありました。また、災害時の初動体制を学びたかったため今回の災害の派遣依頼に希望を出しました。

力を合わせ、 日常を取り戻したい

東日本台風で浸水被害を受けた県北浄化センターの機械設備の応急仮工事をしながら、本復旧工事を進めて

いきます。本復旧は来年度中の終了を目指しているのですが、皆さんには引き続き節水のご協力をお願いしたいです。災害は、またいつ起こるか分かりません。いち早く日常に戻れるよう、今までの



お話を伺った桃原拓未さん(中央)と東京都からの応援職員・小滝勝己さん(右)、秋田県からの応援職員・清水継規さん(左)

経験をいかながら、福島県職員の皆さんと力を合わせて復旧を進めていきます。福島県に来て、見る景色全てが新鮮です。ご当地グルメを食べたり、冬はウィンタースポーツなど、福島県でしかできないことにも挑戦したいです。

令和元年東日本台風による福島県内の公共土木施設の復旧状況パネル展



公共土木施設の被災、被害状況や東日本台風の概要、応急復旧工事の状況などを紹介するパネル展を開催します。

日時 6月8日(月)～19日(金) 午前9時30分～午後5時

会場 福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ(福島市早稲町)

問 県庁土木企画課 ☎024(521)7886

福島県緊急水災害対策プロジェクト

東日本台風等による災害を踏まえ、頻発化・激甚化する水災害への対応として、総合的な防災・減災対策の強化を目的に、令和6年度までに10項目にわたって集中的に取り組みます。

ハード対策

- ① 改良復旧事業および災害復旧事業の推進
- ② 河川の河道掘削および伐木の推進
- ③ 河川改修および堤防強化の推進
- ④ 土砂災害対策の推進

ソフト対策

- ⑤ 危機管理型水位計の設置拡大
- ⑥ 河川監視カメラの設置拡大
- ⑦ 洪水浸水想定区域の公表の前倒し・拡大
- ⑧ 福島県河川流域総合情報システムのサーバー強化
- ⑨ ダムにおける事前放流に向けた体制構築
- ⑩ 土砂災害警戒区域等の指定の推進



破堤により家屋等の浸水被害が発生

Pick up

① 改良復旧事業および災害復旧事業の推進

東日本台風に伴う豪雨により、家屋等の浸水や護岸崩壊などの甚大な被害が発生した河川について、災害復旧とあわせて河川改良を行い、再度災害防止を図ります。



【平成27年 関東・東北豪雨の事例】 桧沢川 (南会津町)
災害復旧助成事業により、護岸の復旧とあわせて河道拡幅などの河川改良を行い、河川の流下能力向上を図りました。

Pick up

⑥ 河川監視カメラの設置拡大

氾濫の危険性が高く、人家や重要施設のある箇所には簡易型河川監視カメラを設置し、リアルタイムで河川状況を共有することで円滑な避難を促進します。



図 県庁河川計画課 ☎024(521)7482

知事メッセージ

Message

安全・安心な暮らしを
一日でも早く取り戻す
ために

福島県知事 内堀雅雄



東日本台風等による被害は、これまで本県で発生した水害の中で過去最大規模の極めて甚大なものとなりました。

県では、被災した箇所の復旧を始め、河川の改修や土砂災害対策のほか、県民の皆さんが命を守る行動を取るための情報発信を強化するなど、ハード・ソフト両面からの対策を集中的に進めています。

近年、激甚化する水害から、県民の皆さんの生命と財産を守るため、市町村や国と力を合わせて、総合的な防災・減災対策に取り組んでいきます。